

第6回江南市市民協働・市民活動推進協議会 会議要旨

会議名：第6回江南市市民協働・市民活動推進協議会

日時：平成28年5月19日（木） 午後3時30分～5時

場所：江南市地域情報センター 1階 多目的活動室

委員：出席委員8名

宇野 和明：会長（学識経験者）

柴田 熙（公募市民）

齋藤 雅治（市民活動団体関係者）

早瀬 裕子（市民活動団体関係者）

水野 裕子（市民活動団体関係者）

新 英子（市民活動団体関係者）

伊藤 光洋（江南市社会福祉協議会職員）

坪内 俊宣（市職員）

事務局：片野 富男（市長政策室長）

浅野 武道（地方創生推進課地域協働グループリーダー）

加納 康陽（地方創生推進課地域協働グループ）

資料1 地域まちづくり補助事業 イベントカレンダー

資料2 地域まちづくり補助金の補助対象経費及び補助対象外経費

資料3 平成28年度 NPO・ボランティア講座（案）

資料4 タウンミーティング チラシ

資料5 地域まちづくり補助事業 親子のhappy spot チラシ

資料6 地域まちづくり補助事業 親子歯磨き教室 チラシ

議題	1、江南市地域まちづくり補助事業について
	2、市民・協働ステーションについて
	3、その他

市長政策室長挨拶

宇野会長挨拶

皆さんお忙しいところ本日はお越しいただきましてありがとうございます。

今日は、2つの議題をご用意しております。1つ目は江南市地域まちづくり補助事業について、その補助対象経費に関するご意見をいただきたいと思います。2点目は、市民・協働ステーションの活用法に関するご意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

1. 江南市地域まちづくり補助事業について

○事務局より地域まちづくり補助事業 イベントカレンダーについて説明がありました。

○事務局より補助対象経費について説明がありました。

会長	団体構成員に対する講師料と人件費は対象外でよろしいですか。外部からの講師、専門家、出演者等を対象とするという書き方にした方がいいか、いかがでしょうか。
委員	最初から外部の講師や専門家、出演者は対象と分かるようにしてあると勘違いすることがないと思います。
委員	団体構成員に講師を依頼した場合、補助対象外ですが、他の団体にも所属している方が他の団体の構成員として講師をした場合は、別団体の扱いとして外部講師として認められるのですか。
事務局	実際に様々な団体で活躍されている方が、都合にあわせて別の団体の肩書きで講師として報告することは認められないです。申請時の事業計画には、講師まで決まっている必要はないので、報償費として計上してもらえばいいです。ただし、事業報告の時に、団体構成員が講師を勤めた場合は報償費から削るようしてください。外部から先生を呼んでくる場合は報償費の対象となり、団体内で先生をやってもらったら対象外となります。
会長	補助対象経費は、外部からの講師、専門家、出演者等の報酬、謝礼とし、団体構成員に対する講師料等は対象外とするということでしょうか。
(出席委員一同より了承されました。)	
委員	意見の中に交通費の上限を決めてはどうかという意見があるが、上限はどのくらいを目安にしていますか。
委員	打合せで使う場合は最低限2人分まで対象とするなどある程度規制を設けた方がいいのではと思います。
委員	相談会でもガソリン代が対象ではないのかと聞かれることが圧倒的に多いです。補助金の目的がそういうものでないことをはっきり説明する必要があります。

事務局	実際、打合せに自家用車で行かれることが多いので、ガソリン代は正確に費用を算出できないため認められないと考えています。
会長	交通費について、公共交通機関は乗車駅・降車駅で料金が分かるので対象とし、タクシーの場合は、領収書があれば認めるということによろしいですか。ガソリン代は対象外とすることによろしいですか。
(出席委員一同より了承されました。)	
会長	次に需用費を印刷費と消耗品費の項目に分けるという意見がありますが、印刷費については、チラシ、ポスター、報告書等の印刷。消耗品費は、材料、消耗品等の購入とすることによろしいですか。
(出席委員一同より了承されました。)	
会長	通信費は現在、郵便料と宅配などの運搬料になります。そこに電話代・FAX代なども取り扱うのかという意見ですが、切手やはがき・宅配料は領収書が出ますが、電話代・FAX代は領収書が伴わないのでどう扱うか、みなさんのご意見はいかがですか
委員	電話代やFAX代は金額の証明ができないので、交通費と一緒に支払明細が正確に出ないものは対象外にするといった考えでいいと思います。
会長	電話代・FAX代は対象外とすることによろしいですか
(出席委員一同より了承されました。)	
会長	保険料については参加者と団体構成員を対象とするのかというご質問ですがいかがですか。
事務局	参加者と団体構成員も対象としています。市によっては、団体として団体構成員の保険はかけておくべきものなので、入っていることが前提になっているところもあります。
会長	委託料、使用料、賃借料については、ご意見ございませんでしたので現行のままとします。 備品については、1品あたり3万円を超えないものとなっておりますが、いただいたご意見の中には、備品といった項目をなくした方がいいのかではとありましたがいかがですか。

委員	備品購入のために申請を出すところがありますか。
委員	備品購入のために申請するところが多いです。備品を計上しているところは上限を抑えて出しています。
委員	補助金は是非、備品購入にかけてほしいと思っています。今回、備品を購入することで、継続的な活動ができるようになるためのスタート資金としての使い方としては正しいと思います。長く使える備品の購入に充てるようにしてほしいと思っています。
会長	市では1万円以上が備品、1万円未満が消耗品としていたと思いますがいかがですか。
事務局	1万円以上でも使ってすぐ消耗するものは、消耗品で計上できませんが、1万円未満ならどんなものでも備品としては扱っていません。審査する段階では、そんなに厳密に行っていないので備品と消耗品の扱いは難しいところです。 1品あたりの上限を上げていくと備品購入費も高くなるが、実際は今後も使えるので、備品購入に多くを割り当てるのも一概に否定はできません。
会長	1品あたり1万円未満は消耗品費、1万円以上3万円未満は物品費とし、備品購入のみを目的とする事業は認めないということによろしいですか。
(出席委員一同より了承されました。)	
会長	費用弁償について、報償費、交通費、食糧費と違いが分かりづらいので必要ないのではないかという意見ですがいかがですか。
委員	連携コースにおいて、特に複数の団体と一緒に事業を行っていく中で、片方がメインで事業を行い、もう片方がお客さんになってはいけないので、団体間のコーディネートを1人置いて、連絡調整や会議録を作成し、共有することは必要です。各団体の進捗管理を行う人をできれば置いてほしいです。20万円の予算の上限内で計上できる団体には、従来からのルールに照らして、1日500円以内かつ対象経費総額の3分の1を限度として認め、コーディネートをを行った証拠として実績報告の時に会議録を提出してもらいます。コーディネートを置いた方が連携して事業を行えるのではないかと思うので、事務費として出してほしいという提案です。

会長	費用弁償という項目を削除して、事務費として新たな費目において、その補助対象経費として団体間の協働のコーディネートや事業推進のための会議録の作成等として1日500円以内、対象経費総額の3分の1を限度とするという提案ですがいかがでしょうか。
事務局	今回の提案は新しい提案となります。講師ではないが、会議の準備をした人、資料を作成した人、一人で作業をした人などを認めるのなら、団体構成員への報償費と同じ意味になってくると思います。以前は会議に1回出席すると団体内の他の人に比べて頑張っているという気持ちで、500円計上していたところもありましたが、現行では認められません。
委員	予算上で事務費として会議のスケジュール等を出して計画的にやってもらえれば認めてもいいと思います。
会長	連携コースだけを対象とするということによろしいですか。
委員	イベントのチラシ作成等ではなく、議事録の作成に絞ったほうが良いと思います。
委員	後で見るときに会議録が必要になってくるのかどうかです。
会長	会議の内容は会議録でしか残らないので、必要にはなってくると思います。
委員	会議のコーディネートとは、コーディネーターがいるのか、コーディネーターと会議録の作成者を分けののでしょうか。司会進行や議事の取りまとめ等をやってもらったときにはコーディネーターも対象となりますか。
委員	議事録の作成者がメインとなるが、1日500円だから何人が対象でも問題ないと思います。
委員	会議に対して1日500円出して、どのように分けるかは団体内で決めてもらうのがいいのではないのでしょうか。
委員	今回の提案には、会議当日の事務費ははずして考えていました。会議の日以外に事務をやっている時間や会議をするまでに案内を作成して送ったり、会場を押さえたり、会議録を作成したりする時間に対してしっかりと担当を決めてもらって、事務費を出してあげたいと考えています。

事務局	コーディネートを導入するのはどうですか。コーディネート役を決めて、何かない限り交代しないようにして、日報を出してもらおう。1つの日報に対して500円を支給するようにしてはどうか。
会長	コーディネーターの日当を事務費としてあげていいのか。
委員	事務費としていいのかわからないが、コーディネート役を団体内で決めて事業を進めていくのであれば、団体内で決めてもらえばいいと思います。
事務局	連携コースにおいて団体間のコーディネートを担う人の日当を500円とし、附属資料として実績報告時に日報を出してもらおうということはどうですか。
会長	連携コースに限定して会議録も事務費の中に入れてもいいと思います。
委員	連携して事業をやっていく上で、会議録の作成についても事業の支援として入れるべきだと思います。
委員	第三者に説明できる資料を整え、最低限それがないと対象経費として認められないと思います。
会長	費用弁償は項目をなくし、飲み物代は食糧費に入れる。また、事務費は会議のコーディネートと会議録の作成に1日500円とするとしてよろしいですか。
(出席委員一同より了承されました。)	

2. 市民・協働ステーションについて

○中間支援団体のコミュネット江南 齋藤委員より地域情報センター1階の多目的活動室の活用について提案がありました。

委員	社会福祉協議会でもボランティア相談を毎週土曜日と第2・4月曜日に行っているが、相談者が少ないのでカフェ的なものであればイベントなどの時に入りやすいのではないかと考えています。情報センターでちょっとしたイベントをコミュネット江南と連携してやれたらと思いました。お茶を飲みにくるだけでもボランティア団体の方が集まればいいのかと思っています。
委員	情報センターが話をするだけの場だけではなく、ちょっとした

	作業などをここでやってもらえる場所として使ってもらえるようにという意味もこめて活動室という名前の提案させてもらったので、会議室ではなく活動室としての使い方をしてもらえる広報をしていけたらと思っています。
委員	情報センター内は飲食できますか。
事務局	情報センターは原則、飲食禁止です。ただし、会議室やフロア、多目的活動室を事前予約していただければ許可しています。ごみは責任を持って帰っていただくようにしています。
委員	いつもイベントの時に、呼び込みでお子さんに綿菓子を作って渡しているんですが、お菓子を配ったりするのはいいですか。
事務局	主催者側が責任を持って、会議室や指定された場所で管理できるなら許可します。

3.その他

○事務局より NPO・ボランティア講座について説明がありました。

○事務局より次回の協議会の開催時期について説明がありました。

事務局	NPO・ボランティア講座についてこんな講座があったらというアイデアがありましたら、教えていただければと思っています。 次回は平成 28 年 8 月の開催を予定しています。
-----	--

イベント カレンダー

28年度まちづくり補助金 採択事業

※イベントの詳細については、各団体にお問合せ下さい

団体名（連絡先）	日 時	イベント 【会場】								
特定非営利活動法人 わいわいわい (0587-52-5000)	・7/23 (土) 10:00~	親子で正しい歯磨き習慣を身につけよう ・歯についての講演会(保育士による託児)・親子での歯磨き教室								
特定非営利活動法人 子どもと文化の森 (0587-94-1223)	・6/25(土) 9:45~14:00 ・9/7(水) 10:00~15:00 ・11/3(木・祝) 9:30~11:00 ・11/24(木) 10:00~12:00 ・2/18(土) 10:00~12:00	繋がれ！広がれ！親子の happy spot ・親子の happy spot 【愛知江南短期大学5号館周辺】 ・ベビー・ナーサリィ講座【江南市民文化会館第2会議室】 ・赤ちゃんを知ろう【のいちご子ども園】 ・はなそう！現役ママ集合【江南市民文化会館第2会議室】 ・つくろう！江南の子育ての輪【江南市民文化会館第1会議室】								
草井を元気にする会 (0587-59-8449)	・8/6(土)、7(日) 9:00~11:20 ・8/10(水)、11(木) 9:00~11:20 ・8/21(日) 8:30~15:00	カローリング体験教室とカローリング大会 ・カローリング体験教室 ・投球練習会 ・カローリング大会								
親和会 (0587-54-6663)	・10月	町内別対抗運動会 【古知野南小学校】 ・運動会								
こうなん地域猫の会 (080-3645-6433)	・4月~6月	野良猫対策 ・野良猫の捕獲、避妊、去勢手術								
フェリーチェ (0586-53-3660)	・5月~3月	生演奏を身近に感じて楽しもう ・市内18保育園を1年で訪問 ・紙芝居や絵本に音楽をつけて演奏 <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <td>5/18(水)</td> <td>古知野南保育園</td> </tr> <tr> <td>5/31(火)</td> <td>小鹿保育園</td> </tr> <tr> <td>6/1(水)</td> <td>宮田東保育園</td> </tr> <tr> <td>6/7(火)</td> <td>布袋保育園</td> </tr> </table>	5/18(水)	古知野南保育園	5/31(火)	小鹿保育園	6/1(水)	宮田東保育園	6/7(火)	布袋保育園
5/18(水)	古知野南保育園									
5/31(火)	小鹿保育園									
6/1(水)	宮田東保育園									
6/7(火)	布袋保育園									

		<table border="1"> <tbody> <tr><td>6/8(水)</td><td>門弟山保育園</td></tr> <tr><td>6/14(火)</td><td>宮田南保育園</td></tr> <tr><td>6/17(金)</td><td>あずま保育園</td></tr> <tr><td>6/21(火)</td><td>中央保育園</td></tr> <tr><td>6/23(木)</td><td>宮田保育園</td></tr> <tr><td>8/3(水)</td><td>布袋北保育園</td></tr> <tr><td>10/26(金)</td><td>布袋西保育園</td></tr> <tr><td>11/9(水)</td><td>古知野中保育園</td></tr> <tr><td>12/2(金)</td><td>古知野西保育園</td></tr> <tr><td>12/6(火)</td><td>藤里保育園</td></tr> <tr><td>12/15(木)</td><td>布袋東保育園</td></tr> <tr><td>12/19(月)</td><td>古知野北保育園</td></tr> <tr><td>12/20(火)</td><td>草井保育園</td></tr> <tr><td>2/16(火)</td><td>古知野東保育園</td></tr> </tbody> </table>	6/8(水)	門弟山保育園	6/14(火)	宮田南保育園	6/17(金)	あずま保育園	6/21(火)	中央保育園	6/23(木)	宮田保育園	8/3(水)	布袋北保育園	10/26(金)	布袋西保育園	11/9(水)	古知野中保育園	12/2(金)	古知野西保育園	12/6(火)	藤里保育園	12/15(木)	布袋東保育園	12/19(月)	古知野北保育園	12/20(火)	草井保育園	2/16(火)	古知野東保育園
6/8(水)	門弟山保育園																													
6/14(火)	宮田南保育園																													
6/17(金)	あずま保育園																													
6/21(火)	中央保育園																													
6/23(木)	宮田保育園																													
8/3(水)	布袋北保育園																													
10/26(金)	布袋西保育園																													
11/9(水)	古知野中保育園																													
12/2(金)	古知野西保育園																													
12/6(火)	藤里保育園																													
12/15(木)	布袋東保育園																													
12/19(月)	古知野北保育園																													
12/20(火)	草井保育園																													
2/16(火)	古知野東保育園																													
江南市女性連絡協議会 (0587-56-2263)	・6月 ・7月 ・8月 ・9月 ・11月 ・12月 ・1月 ・2月 ・3月	地域の未来は子育て支援で ・子育てセミナー(5, 8, 11, 2月) ・ママカフェ(7, 9, 12, 1, 3月)																												
飛高親の会 (0587-54-4533) (090-2612-9560)	・5月～ (月1. 2回)	ふれあいほっとサロン ～子育てサークルを中心にならう～ ・読み聞かせ、親子遊び ・工作、クラフト ・公園遊び、散歩の会 ・パパ参加イベント ・体操																												

地域まちづくり補助金の補助対象経費及び補助対象外経費

	補助対象経費	補助対象外経費
(1) 報償費	講師、専門家、出演者等への報償、謝礼	・団体の構成員に対する講師料 ・商品券等の金券の購入代金 ・記念品等の購入経費
(2) 交通費	講師との打合せなどの交通費等	旅行を目的としたイベントの旅費
(3) 需用費	チラシ、ポスター、報告書等の作成費や印刷費及び材料、消耗品等の購入費	
(4) 通信費	郵便料、運搬料	
(5) 保険料	ボランティア活動保険の保険料など	火災保険、地震保険など、家屋にかかる保険料
(6) 委託料	専門知識、技術を要する業務など、事業の一部を外部に委託した費用	
(7) 使用料,賃貸料	会場等の使用料、機器類の貸借（レンタル）料等	家賃（敷金、礼金を含む）
(8) 備品	1品あたり3万円を超えないもの	
(9) 費用弁償	事業実施において作業を伴う場合で、現場までの交通費、作業の休憩中に必要な飲み物等の領収書の取得が困難なもの。 ※1人1日500円以内 ※対象経費総額の3分の1を限度。	
(10) 食糧費	会議や催しの際に最低限必要な飲み物	食事、アルコール類
(11) その他	事業実施のために必要な経費で、市長が認めたもの	

第5回推進協議会での意見
・団体構成員に対する講師料は対象外。 ・団体構成員の人件費は対象外。
・ガソリン代は対象外。
・需用費という言葉は分かりにくい。
—
—
—
—
—
・費用弁償という言葉が分かりにくいため、必要ない。
—
—

各委員のご意見 (第6回推進協議会の参考資料)
・報償費は、外部からの講師、専門家、出演者等のみ対象とすればスッキリする。 ・ここで、団体構成員は対象外の記述をしない。
・公共交通機関か、タクシーなど領収証の発行される交通手段のみ、といった様にハッキリ記述したほうがいい。 ・実費がかかった場合、交通費の上限を決めるのはどうですか。
・消耗品費と印刷費を分ける。印刷用の用紙代をどちらに計上したらいいか決めて明記したほうがいい。 ・需用費はわかりづらいので「印刷費」と「消耗品費」に分ける。 ・広報費と消耗品費と項目を分けてはどうか。
・電話・F a x 料金は通信費として取り扱うのか？ ・電話代について、明記したほうがいい。
・参加者と団体構成員のどちらもOKか？ ・「保険費」という形で項目があると活動に対して入らなければ、と思えますね。
・備品・消耗品費を上の方にし、補助事業の費目の優先順位をはっきり見せたほうがいい。 ・「備品」という項目を無くした方がいいのではないか。 ・消耗品費と備品の取扱い（基準）が分かりにくい。
・連携コースにおいては、団体間の協働のコーディネートや事業推進のための会議録の作成等の事務費として、1日500円以内かつ対象経費総額の3分の1未満ぐらいは認めてもいいと思う。実績報告時に会議録等を提出してもらうことで認めてもいいと思う。 ・自分でお茶を持ってこることが当たり前で活動していると、自分たちにお茶代というのは不思議な気がする。 ・報償費、交通費、食糧費との違いが分かりにくい。
・「費用弁償」の飲み物も、こちらで「最低限必要な飲み物」として購入すれば上記の飲み物代は解決しないでしょうか。

※あと、費目ではないのですが、数量×単価の記述をきちんとするように、表示にも工夫がしたいと考えています。

平成28年度 NPO・ボランティア講座（案）

1. 目的

江南市内で活動している市民活動団体が、今後も継続・発展していくために、会員や活動仲間を募るスキルの向上を促し、団体活動の拡充を図ることで、他団体との協働事業を検討・実施できる団体の増加を助長し、協働によるまちづくりが促進することを目的とする。

2. 講座概要

- ・今まで、企画として計画を立てずに小規模でボランティア活動を行っていた団体や、企画の立て方に不安のある団体が研修会を行い、企画の立て方を学ぶことで、人材確保、資金面等において、団体の活動の幅を広めることができる。また、活動自体を無駄のないものにするよう目指す。企画が充実していれば、団体が継続し発展していけるようになる。そして、協働事業も増加し、より住みよい江南を市民の力で実現できるようになることを目標とする。
- ・ボランティアに興味・関心がある学生とNPO・ボランティア団体は、なかなか交流できる機会が少ない。そのため、学生は、何を目的として、どのような活動をしているのか具体的に知らないことが多い。そこで、研修会を行い、交流の機会を作ることでボランティア活動への関心を高め、学生が実際に活動へと繋げることを目指す。また、団体にとって次世代へのバトン渡しは常に課題となっている。団体を存続させるためにも、団体自体を他世代に広めることを目的とし交流をすることで課題解決の糸口を見つける。
- ・今年度の採択された江南市地域まちづくり補助金を受けている事業のうち、子育てや子どもに関わるものもあるので、「地域で子ども達を育む」というようなテーマにて報告会後半のフォーラムを実施することで、報告事業の内容とつながりのある講演内容になり、より多くの方々に参加を促しやすくなるを考える。

3. 対象者

江南市内で市民活動・NPO活動をしている団体のメンバー、及びこれから活動をしたいと思っている江南市民

4. 事業内容

9月頃	参加者の集まる企画の立て方（仮）	人の集まりやすい企画の立て方を学ぶ研修会を行い、団体として、有意義な活動ができる手助けをする。
12月頃	学生とNPO・ボランティア団体の合同研修会（仮）	ボランティア活動に関心のある学生とNPO・ボランティア団体の交流を行うことで、他世代にわたる活動へ幅が広がるようマッチングを行う。
3月頃	実績報告会・地域づくりをテーマにした講演会	実績報告会を通じて個別事業の成果と今後の課題を確認し、学びあう。 市外における地域協働実践者より、協働の取り組みの進め方について事例報告をし、今後の協働の可能性を探る。

NPO・ボランティア活動の継続・発展を促す研修会

第1回

会計講座 (案)

ねらい

団体の会計や資金管理に不安や疑問を持つ方々に向けて、会計のスキルアップ研修会を行うことで、市内の団体の継続を手助けする。

目的

特に法人格を得ていない小規模な団体の中には、会計処理に手間をかけられずにいたり、そもそも必要性をあまり感じていない団体もあるように見受けられます。

そこで今回の講座では、どう資金管理したらいいかわからないという会計担当者や、会計の必要性を感じていない団体の方々や、これから団体の運営がスタートする団体などを主な対象として、団体の資金管理に関する、会計処理をするメリットや、していないデメリットなどを学びながら、より手軽・気軽に会計を行っていく「コツ」のようなものを得て、今後の活動をより活性化させていけるようになってくればと考えています。

それと、個別相談の受付をすることで、より個々の体制や事業に合わせた相談対応ができて、今後、困ったときに助けを求められるようになることも重要だと考えています。

- ・ボランティア団体がしっかり決算することで得られること、決算書の見方、活かし方。
- ・決算に向けての日ごろの準備。

概要

日程候補日 10月15日 18時30分～（調整中）

江南市老人福祉センター（予定）

対象

小規模ボランティア団体などの、団体の会計や運営に関わっている方々。

講師 中尾さゆり氏

事例提供団体 コミュネット江南 代表 齋藤雅治

講演内容（1時間30分ぐらい）

- ・はじめに講師より、会計入門としてカンタンなレクチャーをしてもらう。
- ・会計作業の具体例を見せることで、団体の会計とは何をすれば良いのか！また、決算書を作る意味や活用方法を知ってもらう。（寸劇の様な方法で、より分かりやすく伝える。）
- ・講師より、より使い勝手の良い各種会計書類の実物を見せながら、記入の仕方と書類の見方をレクチャーしてもらう。

個別相談会 <原則予約制>二人体制 45分間ぐらい

or

グループ相談（丸くなって気軽にきく形）

※第2部は希望者が集まりテーブルを囲み、質疑応答や情報交換する。助け合いの輪作り。

伝えるコツ講座 (案)

ねらい

仲間を募集するのに必要なことは何かを学ぶ勉強会を行い、実際の募集案内の発信につなげる。

背景

日頃ボランティア活動を頑張っている方々に集まって頂いて、団体活動の課題を挙げてもらおうと、かなり多くの団体が、仲間を増やしたいが増えない…とか、今後団体や活動を受け継いでいってくれる人材を探しているが見つからない…といった様な課題を抱えているとのことです。

ただ、そのために必要だと思われる仲間を募集する広報宣伝物などが、まったくと言っていい程に見受けられません。多少、チラシ等を出している団体もあるようですが、市内の公共施設に置いてあるチラシを必死に掻き集めるか、広報を毎月しっかり隅々まで目を通すなどすれば、なんとか見つけられるといった状況です。

目的

そこで、団体の仲間を募集するには、チラシなどの広報物に、何をどう記載すればよいのか！

自分達の団体を、どう紹介するか、アピールポイントは何なのか、どんな人に仲間になってほしいのか、対象と伝えたいことを絞り込むことで、より効率的で成果の期待できる募集活動につながるので、この講座で、仲間の募集に必要なポイントをつかんでもらう。

概要

日程候補日 12月初旬(予定)

江南市老人福祉センター(予定)

対象

市内で活動している団体の方々。

講師 井上 淳之典氏

研修内容(1時間30分ぐらい)

- ・「伝えるコツ」というテキストを使いながら、自分たちの団体の特徴を再認識し、仲間の募集活動への活かし方を学ぶ

※ 講座終了後も、コミュネット江南にて継続的にサポートしていく。

タウンミーティング

を開催します

～こうなんだ江南・

未来を語ろう～

江南市長 澤田和延



テーマ

江南市の財政状況

日時 5月28日(土)午前10時～11時30分
(開場は午前9時30分～)

場所 宮田地区学習等供用施設2階会議室

定員 100人程度

事前申し込みは必要ありません。参加者多数の場合は、参加できない場合があります。

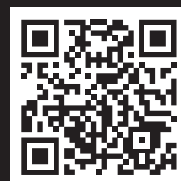
※駐車場に限りがありますので、乗り合わせでお越しいただくなど、ご協力をお願いします。

詳しくは、市ホームページまたは広報5月号をご覧ください。

会場の様子はインターネットでリアルタイムに中継する予定です。

USTREAM チャンネル「江南市タウンミーティング」

(<http://www.ustream.tv/channel/pv7SN9GPqXw>)



問 江南市地方創生推進課地域の魅力発信グループ (☎54-1111 内線 349)

第 2 回

親子の happy spot

2016 年

6
25 (土)

9:45 ~ 14:00

- 場所：愛知江南短期大学 5 号館周辺
江南市高屋町大松原 172 番地
- 対象：0 才～就園前の親子
- 参加費：無料



親子リズム

体育館

10:00 ~ 11:00
(雨天の場合は 5-205)

水分補給用の飲み物をお持ち
ください。動きやすい服装で、
素足でリズム遊びをします。

開会式
9:45~

おもちゃを作ろう の部屋

5-204

10:00 ~ 14:00

絵本と手遊び の部屋

5-205

10:00 ~ 14:00
雨天の場合は
親子リズム終了後

遊びの部屋

5-206

10:00 ~ 14:00

人形劇の部屋

子育て支援センター

① 11:30 ~ 12:00
② 13:30 ~ 14:00

わらしべ人形劇
「さるとかに」

※学食ランチの提供はありません。
昼食が必要な方は各自でご用意ください。
靴をぬいで各お部屋に入ってください。

大人の学びの部屋① 11:00 ~ 12:00

5-203

定員 45 名
申し込みが必要

「親子で始めよう！毎日の食育」

講師：福岡 恩 先生（愛知江南短期大学）

大人の学びの部屋② 13:00 ~ 14:00

5-203

定員 45 名
申し込みが必要

「キレない ひきこもらない子にするための
親子コミュニケーション」

講師：森山雅子先生（愛知江南短期大学）

※大人の学びの部屋に申し込まれる方は託児を利用することができます。

(有料 1 回 1 名 500 円) 定員になりしだいメッキリますので早めにお申し込みください。

主催団体：NPO 法人子どもと文化の森

連携団体：NPO 法人のいちご ここたん

共催団体：愛知江南短期大学

協力団体：江南市子育て支援センター 人形劇グループわらしべ 飛高親の会

こちら皆さんの参加をお待ちしています。

9月7日(水) 10:00～15:00 江南市民文化会館第2会議室 「ベビー・ナーサリー講座」
乳児に特化した保育方法を学びます。

11月3日(木祝) 9:30～11:00 のいちごこども園 「赤ちゃんを知ろう」
赤ちゃんの育ちを、みんなで一緒に考えましょう。

11月24日(木) 10:00～12:00 江南市民文化会館第2会議室 「はなそう！現役ママ集合」
「日頃思っている事」「こんなふうだったらもっと子育て楽しくなるよ」など、
子ども・子育てに関わることをおおいに語り合しましょう。

平成29年

2月18日(土) 10:00～12:00 江南市民文化会館第1会議室 「つくろう！江南の子育ての輪」
江南の子育ての輪が広がり豊かになるように、基調講演やこの1年間の報告などを行います。

6 / 25 第2回 親子の happy spot

☆大人の学びの部屋 及び 託児の申し込みについて

参加ご希望の方は、事前に下記申込み書にてお申し込みください。

メールの方は下記項目をお送りください。

【託児について】

学びの部屋に参加の方のみ利用できます。

定員各回 10名 (1歳以上 / 託児料 1回 500円)

《申し込み先・問い合わせ先》

NPO法人 子どもと文化の森

〒480-0146 丹羽郡大口町余野 1-153

TEL/FAX 0587-94-1223 (平日 13:00～17:00)

E-mail npo-bihoku@aq.wakwak.com

大人の学びの部屋申し込み書

参加者氏名		住所
TEL		E-mail
FAX		
申し込み講座 (○をつける)	<input type="checkbox"/> 「親子で始めよう！毎日の食育」 <input type="checkbox"/> 「キレない・ひきこもらない子にするための親子コミュニケーション」	
託児申し込み	<input type="checkbox"/> 希望する ・ <input type="checkbox"/> 希望しない (○をつける)	
お子さんの名前		年齢 歳 か月 男 / 女



江南市地域まちづくり補助事業

(NPO 法人わいわいわい 池田歯科医院)



親子



はみがき教室

平成28年7月23日(土)



会場：NPO 法人わいわいわい（江南幼稚園隣）

親子で楽しい歯みがき習慣を身につけましょう

お子様は歯みがきを嫌がっていませんか？正しい磨き方を知れば、
歯磨きも楽しくなります。親子で一緒に楽しい歯みがきタイムを作りましょう。



参加人数

親子 50 組（参加多数の場合
は先着順となります。）

参加対象

1 歳から 3 歳までの
子と親

内容

第1部：歯科医の先生のお話（講師：大塚 文与先生）

正しい歯の知識を学びます。

第2部：親子はみがき教室

親子で楽しく、正しく行える「仕上げ磨き」を親子で一緒に体験
します。

★参加された方全員のお子様には歯磨きカレンダーをプレゼント。

参加方法

別紙の「はみがき教室参加申込用紙」に必要事項を記入の上、
わいわいわいまでご持参ください。

申込日

平成28年7月4日（月）から受付